

## いにしえ 2014田んぼアート「古の行田」が見頃です

世界一の規模を誇る行田の田んぼアート。今年は、「古代」をテーマに8種類の稲を用いてアートを描きました。図柄の中央は国宝「金錯銘鉄剣」を掲げる仲むつまじい古人を、その背後には鉄剣が出土した「稲荷山古墳」、さらに右側には全国唯一の出土品で郷土博物館所蔵の国指定重要文化財「旗を立てた馬形埴輪」、そして左側には古代ロマンがかれんに花開く本市の天然記念物「行田蓮」が配置されています。9月中旬には、蓮の図柄などに植えた稲の穂が鮮やかなピンクに色付く他、10月19日(日)に背景部分に使用している「彩のかがやき」の稲刈り作業が行われ、立体的な田んぼアートへと進化します。11月中旬まで楽しむことができますので、ぜひ古代蓮会館展望室からご覧ください。※古代蓮会館からご覧になる場合は、入館料が必要です。

▶問い合わせ 農政課農政担当(内線386)



## 市有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業基本協定合同締結式を開催しました

市有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業とは、市有施設の屋根を発電事業者に貸し出し、発電事業者が再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用して行う発電事業のことです。市のメリットとしては、市有施設の有効活用、市内エネルギー関連産業の振興と地域経済の活性化、環境教育・環境啓発の場の拡充、災害対策の強化、行田エコタウンのさらなる創出、そして約7,500万円の収入(20年間の使用料と固定資産税の合計額)があげられます。



このたび、発電事業を実施する事業者と事業の合意に達したことから、7月28日に基本協定の合同締結式を開催しました。10月下旬には全ての施設の設置工事が完了する予定で、全ての太陽光発電設備を合わせた出力規模は約1.3メガワット、一般家庭の約400世帯分となります。荒木地区内の長善沼に設置されるメガソーラー発電所「行田ソーラーウェイ」と並び、行田エコタウンのシンボリックな施設となり、さらなる再生可能エネルギーの普及促進が期待されます。

### 発電事業者および実施施設

発電事業者	実施施設	使用面積	発電出力
行田エコタウン太陽光発電事業共同連合体	男女共同参画推進センター、環境センター、小学校 16 校	7,774㎡	864.705kW
(株)ファイブイズホーム	行田市役所、商工センター、消防本部、中学校 8 校	4,053㎡	429.58 kW
イーテクノス(株)	総合福祉会館	458㎡	43.50 kW
合計	30 施設	12,285㎡	1,337.785kW

※行田エコタウン太陽光発電事業共同連合体とは、小沢電気工事(株)と(株)早川電工の連合体です。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

### 市有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業基本協定 合同締結式



左からイーテクノス(株)生貝博社長、(株)ファイブイズホーム細井保雄社長、工藤市長、小沢電気工事(株)山本和利社長、(株)早川電工早川實社長

## 和気あいあいとした雰囲気 活動できています



吉野恵一郎さん(長野)  
平成17年入団

昔の消防団は上下関係が厳しかったと聞いていますが、現在は分団長をはじめ先輩団員の方たちと和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。このような環境は、私たちの分団だけでなく、どの分団にも当てはまることではないでしょうか。これから入団を考えている方は、すぐに消防団という組織に溶け込めると思います。

## 消防団に入ってよかった

東日本大震災を機に「自分も地域のために何かできないか」という思いから入団しました。消火活動が終わるとホース撤去などの片付けを行うのですが、その際に、現場を見に来た方から「お疲れさま」という言葉をもらすと、「消防団に入ってよかった」と感じます。まだまだ、器具の使い方など覚えることがたくさんありますが、後輩団員に的確な指導ができるように消防に関する知識を深めていきたいです。



横田純也さん(長野)  
平成24年入団

## 現役消防団員に インタビュー

機動第1分団に所属する吉野さん、大野さん、横田さんに消防団員としてのやりがいや消防団の雰囲気などを語っていただきました。



## 父のように地域を守っていききたい

平成22年に消防団に所属していた父が他界してしまったのですが、「父のように地域を守りたい」という思いから入団を決意しました。

火災が発生したときに現場に駆け付けて消火活動を行っていますが、私は消防職員と消防団員が力を合わせて延焼を防ぐなど、被害の拡大を防ぐことが消防団の使命だと思います。それが達成できたときにやりがいを感じます。

地域住民で構成している消防団は、地域コミュニティの活性化にもつながるのではないのでしょうか。「このまちを守りたい」という熱い気持ちを持っている方と一緒に、消防団で活動していきたいですね。



大野真理さん(桜町)  
平成23年入団

### 消防団を取材して

夏の暑い時期に消防団操法大会に向けた訓練を行ったり、深夜でも大雨が降る中でも真っ先に現場へ駆け付けて消火活動を行ったという団員の皆さん。その胸には「地域貢献がしたい」「自分たちの地域は、自分たちで守る」といった熱い気持ちが秘められていることを、今回の取材を通して実感しました。

消防団は、火災の消火活動や地震や台風などによる災害が発生した際の救助活動など、地域防災のリーダーとして重要な役割を担うとともに、誰よりも地域のことを理解している身近な存在です。現在、本市の消防団には、男性255人・女性10人が所属していますが、熱い気持ちを持った消防団員が増えれば地域のみならず、市全体の防災力を強化することにつながります。「地域のために自分の力を発揮したい」と感じた方は、消防団に入団しませんか。



### ▼問い合わせ

消防本部総務課 ☎550-2120

## もっと教えて消防団の気になること

# 消防団 Q&A



Q 消防団の活動はボランティアなのでしょうか  
A 消防団員は非常勤特別職の地方公務員で、条例に基づき、報酬や出勤手当が支給されます。また、5年以上勤務した方を対象に退職報償金が支払われます。

Q 消防団活動だけがをしってしまった場合は？  
A 活動中に死亡、もしくは負傷または疾病にかかった場合は公務災害補償が受けられます。

Q 必ず全ての消防団活動に参加しなければいけませんか  
A 勤務先の都合やその他の理由で活動に参加できない場合は、できる範囲で参加していただいています。